

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズデイサポート虹の子(児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	令和6年11月5日		～ 令和6年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5家庭	(回答者数)	2家庭
○従業者評価実施期間	令和6年11月5日		～ 令和6年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月26日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全員が常勤職員のため、ミーティングや会議の機会を設けやすく、日々の支援でも終日全員が支援に入れるため全職員が子どもひとり一人を理解できている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が常勤職員として勤務し、職員間の報告・連絡・相談がしっかりとできるように整え、子ども達としっかりと関わることができる体制を取っています。</li> <li>・基準人員よりも増員し、手厚い支援を行っています。</li> <li>・担当制はとらず、支援や送迎なども固定ではなく全職員がローテーションで対応し偏りなく支援ができるように行っています。</li> </ul>	今後も職員体制をしっかりと整え、子ども一人ひとりの理解に努めて支援を行っていきます。また研修等に積極的に参加し、知識や技術を習得して職員のスキルアップを図っていきます。
2	1日の利用人数が少ないため安心してできる環境を作りやすく、職員と1対1で丁寧な関わりができ子どもたちの成長に繋がる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の利用が2、3名のため1対1で関わられる時間を大切にし個別支援に力を入れています。</li> <li>・本人が選択する機会を持ったり、本人の「やりたい!」気持ちを大切にして、活動を組み立てています。</li> <li>・保護者のニーズを踏まえ個別活動の内容を決め取り組んでいます。</li> <li>・本人の状態やペースに合わせて活動内容を変更し支援を行っています。</li> </ul>	今後も子どもたちとの信頼関係を深め安心してできる環境の中で、子どもたちの「やりたい」を更に引き出し個別活動の内容を充実させていきます。より良い子どもたちの成長を支援するために研修等に積極的に参加し、知識や技術を習得して職員のスキルアップを図っていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人数が少なく集団活動が充実しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスとの多機能型事業所のため、放課後等デイサービスの人数と児童発達支援事業の人数の割合により受け入れ人数が少なくなっていることが要因として考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援事業の利用人数も拡大していけるよう、体制の見直しや調整を行っていきます。</li> <li>・長期休みなどで放課後等デイサービスの児童と一緒に活動する機会を設けたり、地域の保育園やこども園との交流の機会を作るように検討していきます。</li> </ul>
2	きょうだい支援、家族支援が不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい支援に関しては、イベントの時にきょうだいの参加もできるようなしていますが、きょうだい支援についての情報発信ができていないことやきょうだい支援についての専門知識の学びが不十分と感じています。</li> <li>・ご家族向けに保護者交流の機会やペアレントトレーニング等研修の機会を作られていないことが課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設として、きょうだいに対しての支援方法や関わり方について更に知識を深め、きょうだい支援をどのように取り組んでいくかを検討、実施していきます。また、きょうだい児がいつでも虹の子に相談に来れるようきょうだい児と職員と関わる機会を増やしていきます。</li> <li>・保護者がいつでも見学できるように周知するとともに、研修等の開催や相談が充実するように整えていきます。</li> </ul>
3			